

図 現在の高齢者人口割合（令和2年）

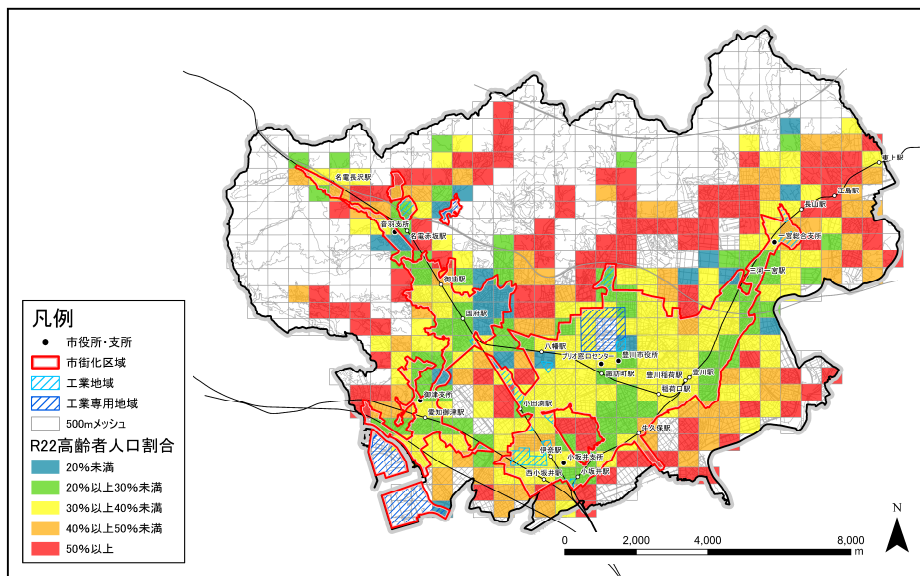


図 将来高齢者人口割合（令和22年）

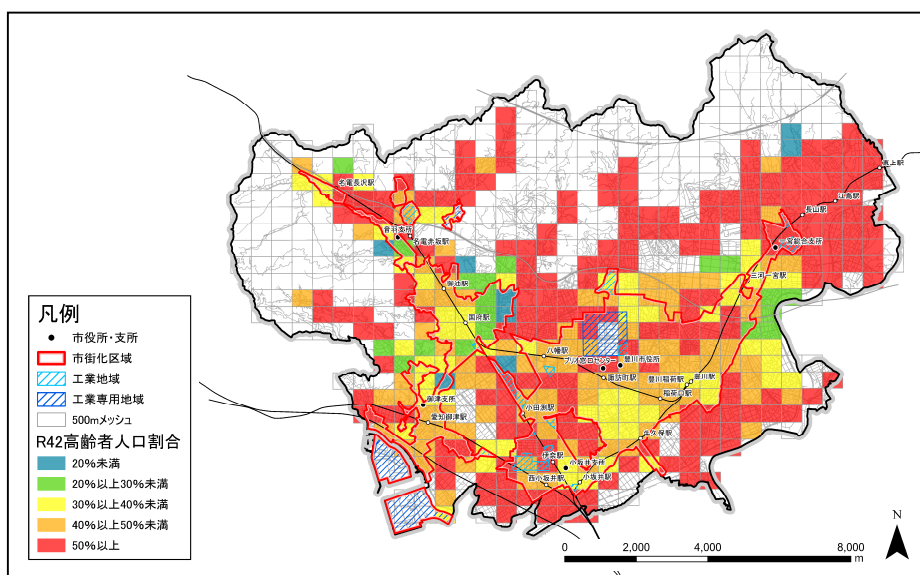


図 将来高齢者人口割合（令和42年）

2 将来見通しと都市構造上の課題整理

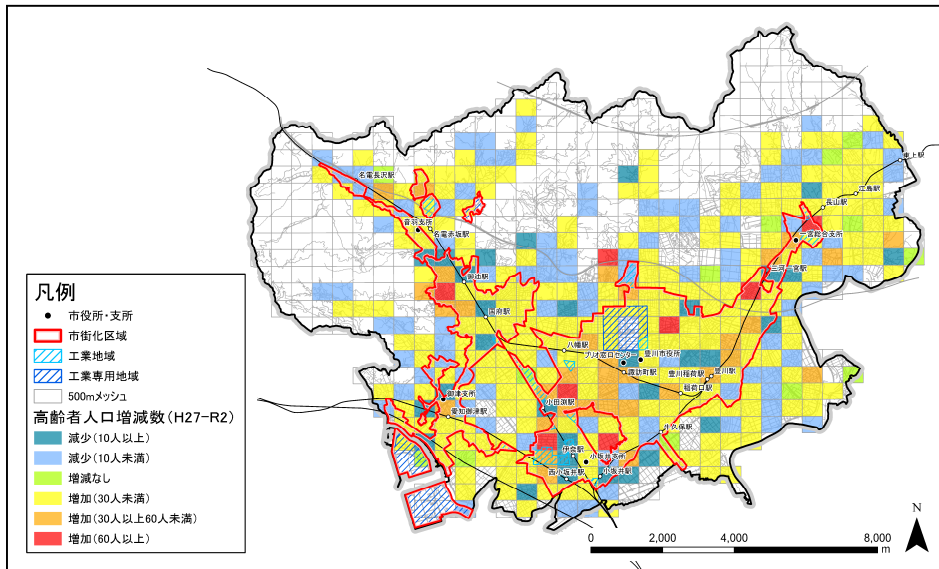


図 高齢者人口増減数 (平成 27 年～令和 2 年)

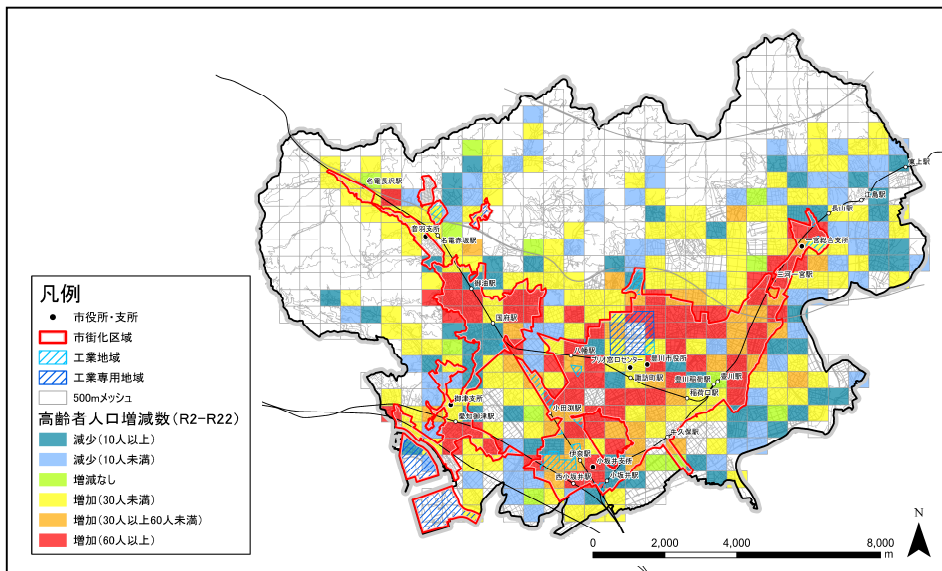


図 高齢者人口増減数 (令和 2 年～令和 22 年)

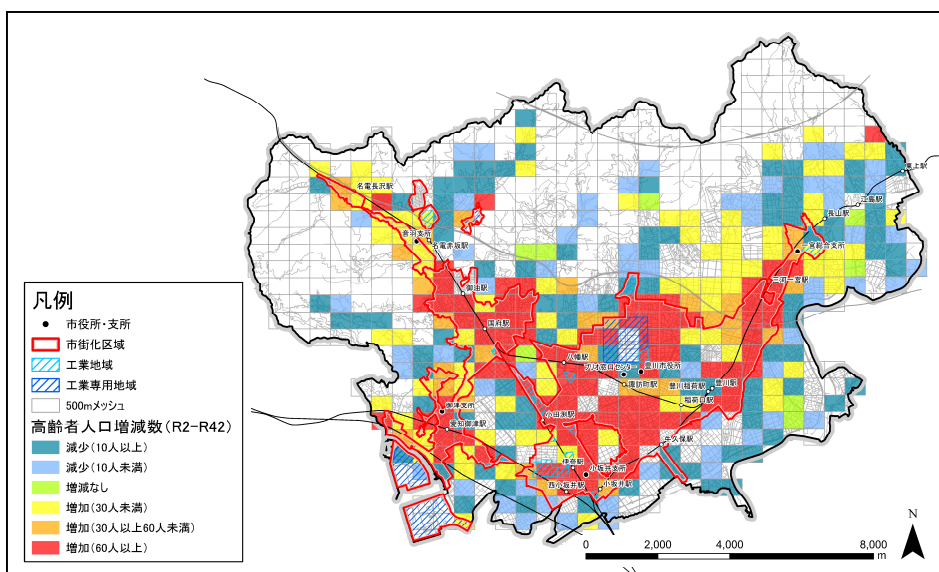


図 高齢者人口増減数 (令和 2 年～令和 42 年)

(5) 地区別年少人口の将来見通し

地区別の少子化の進行について年少人口密度をみますと、令和2年では諏訪町駅南側や豊川市役所周辺、国府駅周辺等で10人/ha以上となっており、市街化区域では6人/ha以上が主体となっています。しかし、令和22年には、10人/ha以上の地域は維持されるものの、市街化区域の多くの地域で2~6人/haとなっており、年少人口密度が低下する見通しとなっています。

また、令和22年の年少人口割合をみますと、市街化区域、市街化調整区域ともに年少人口割合の低下がみられ、市街化区域では、10~15%となる地域が多く、市街化調整区域では、年少人口割合は10~15%もしくは5~10%となっています。

次に、年少人口増減数をみますと、市街化区域では、中心市街地を中心に多くの地域で年少人口密度の低下がみられます。一方で、国府駅周辺や三河一宮駅周辺等、年少人口密度が増加する地域もみられます。

参考までに令和42年の年少人口密度と年少人口割合をみますと、年少人口密度、人口割合ともに減少し続ける見通しとなっています。

2 将来見通しと都市構造上の課題整理

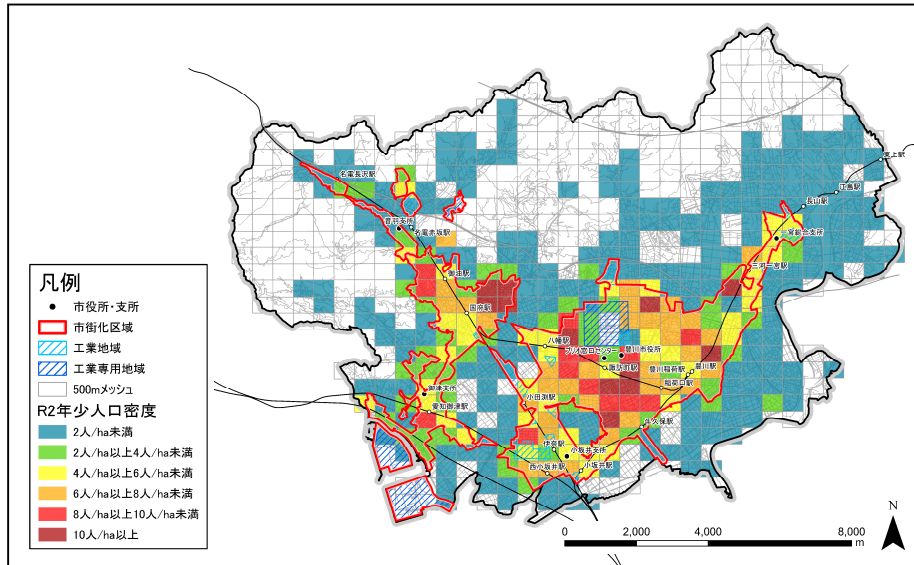


図 現在の年少人口密度（令和2年）

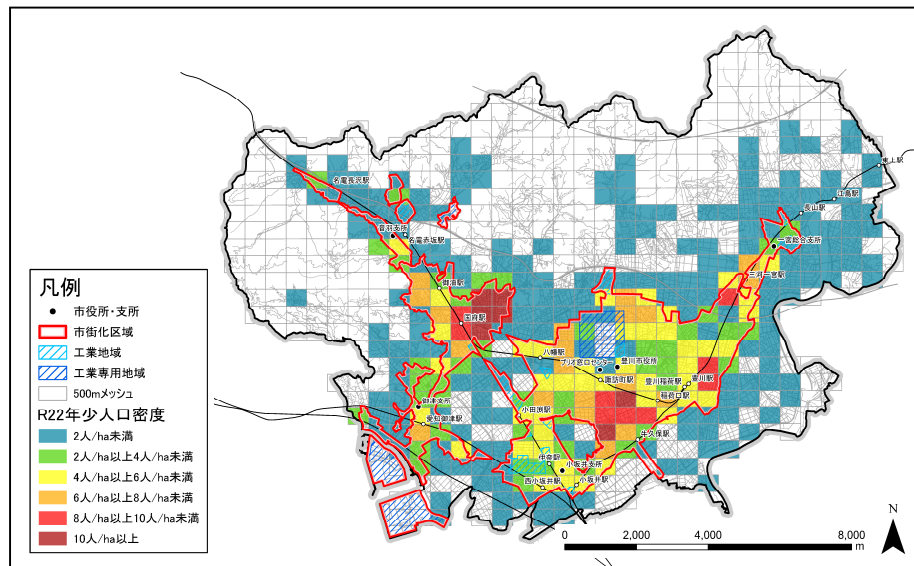


図 将来年少人口密度（令和22年）

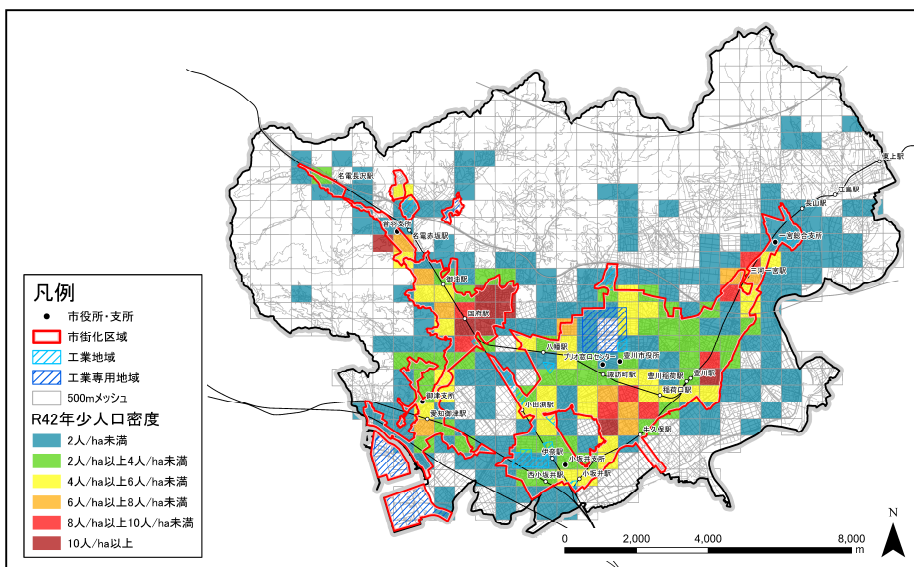


図 将来年少人口密度（令和42年）

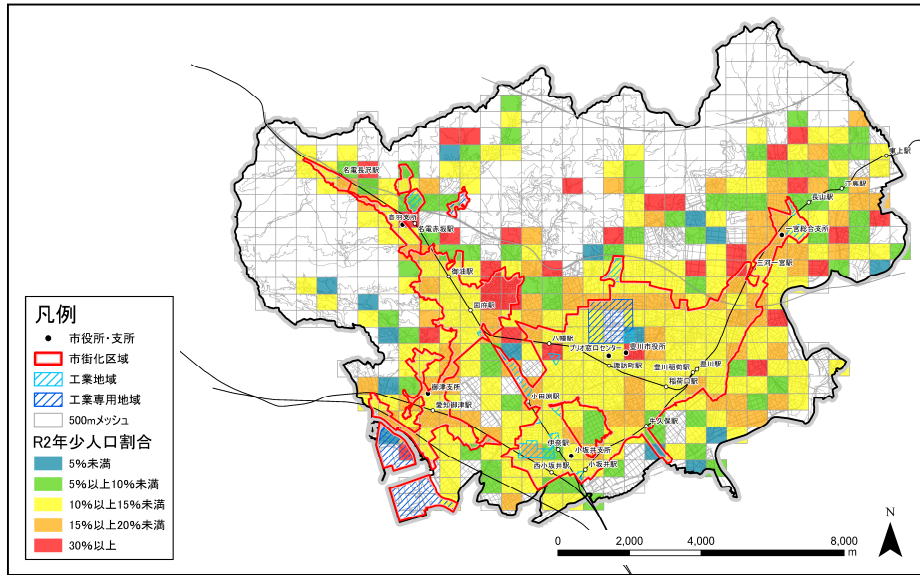


図 現在の年少人口割合（令和2年）

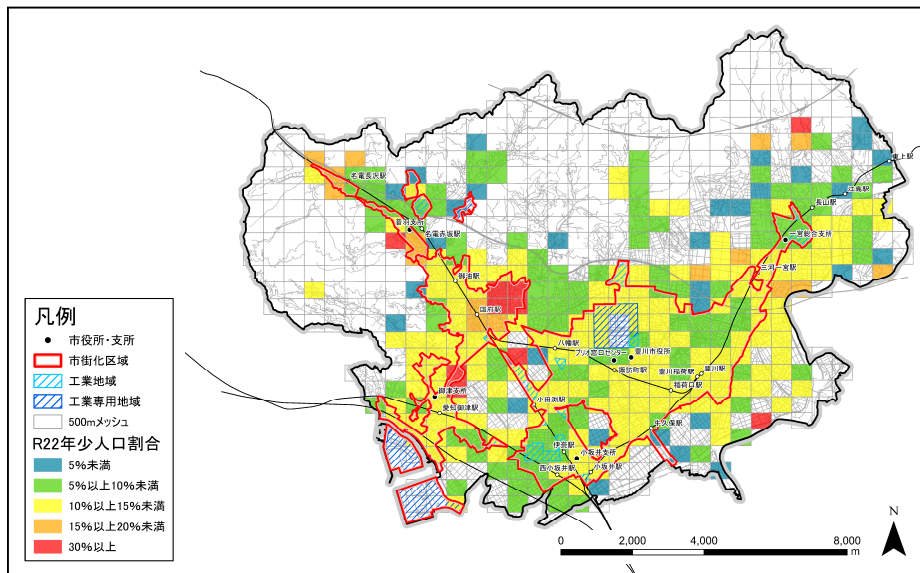


図 将来年少人口割合（令和22年）

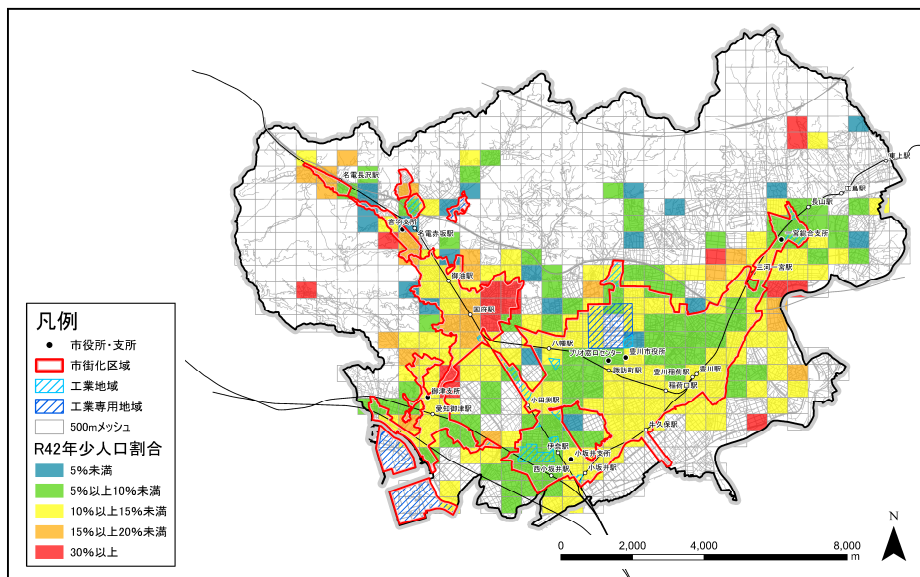


図 将来年少人口割合（令和42年）

2 将来見通しと都市構造上の課題整理

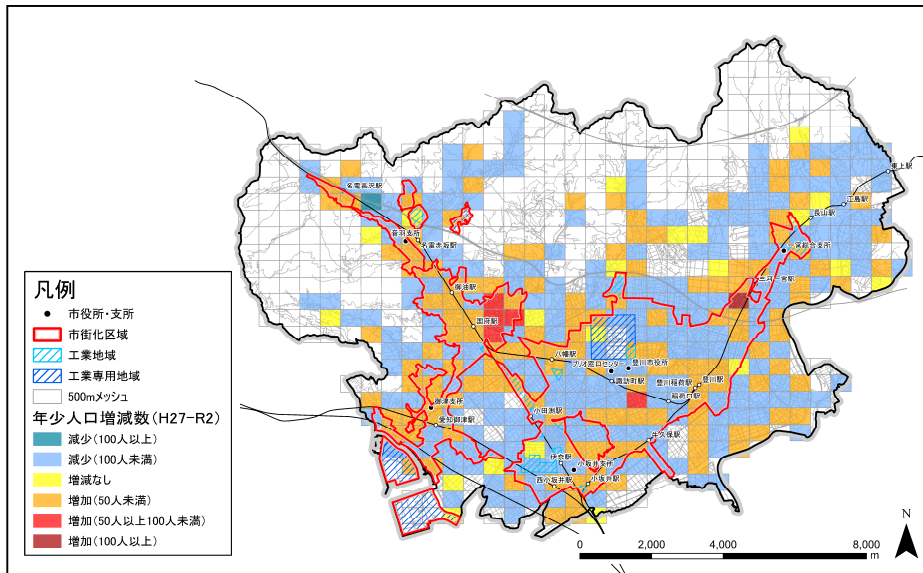


図 年少人口増減数（平成 27 年～令和 2 年）

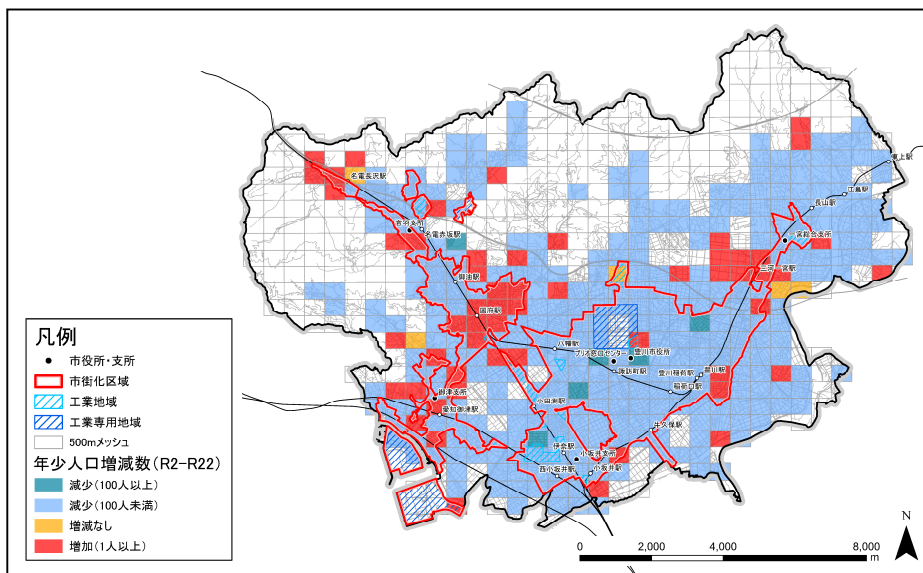


図 年少人口増減数（令和 2 年～令和 22 年）

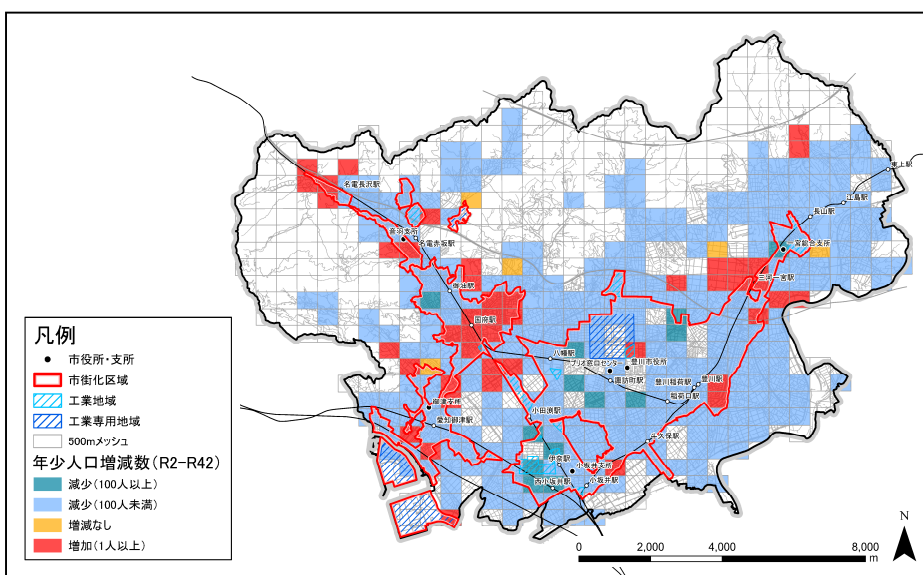


図 年少人口増減数（令和 2 年～令和 42 年）

(6) 地区別生産年齢人口の将来見通し

地区別の生産年齢人口の減少の進行について令和 22 年の生産年齢人口密度をみますと、市街化区域では、国府駅周辺を除くほとんどの地域で生産年齢人口密度の低下がみられます。

また、令和 22 年の生産年齢人口割合をみますと、市街化区域、市街化調整区域ともに生産年齢人口割合の低下がみられ、市街化区域では、55～60%となる地域が多く、市街化調整区域では、50%未満の地域もみられます。

参考までに令和 42 年の生産年齢人口密度と生産年齢人口割合をみますと、令和 22 年の推計と傾向は大きく変わらず、生産年齢密度と生産年齢人口割合の低下が進む見通しとなっています。

2 将来見通しと都市構造上の課題整理

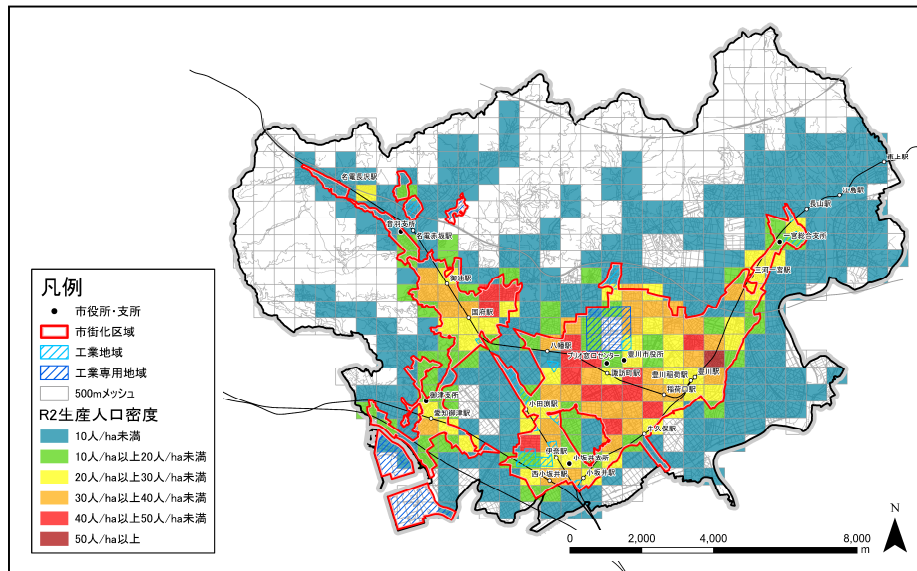


図 現在の生産年齢人口密度（令和2年）

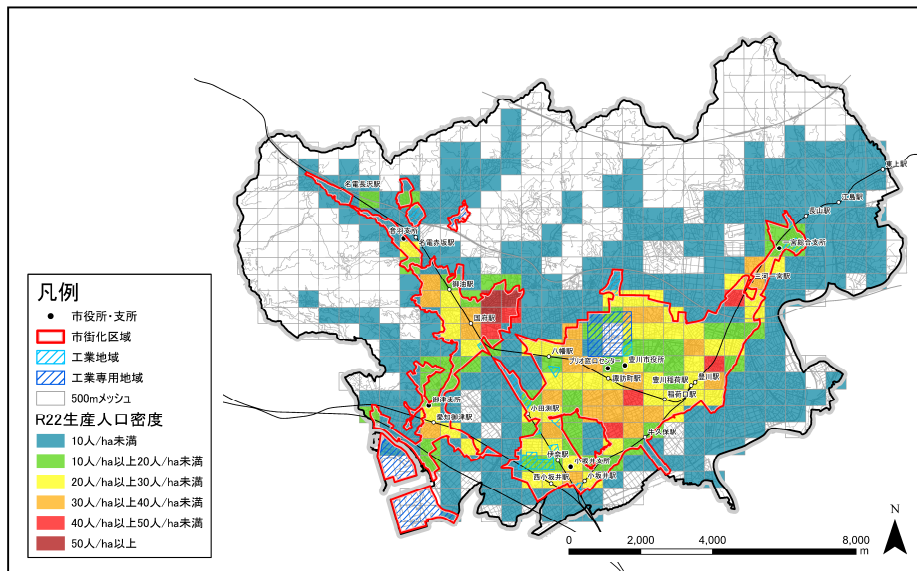


図 将来生産年齢人口密度（令和22年）

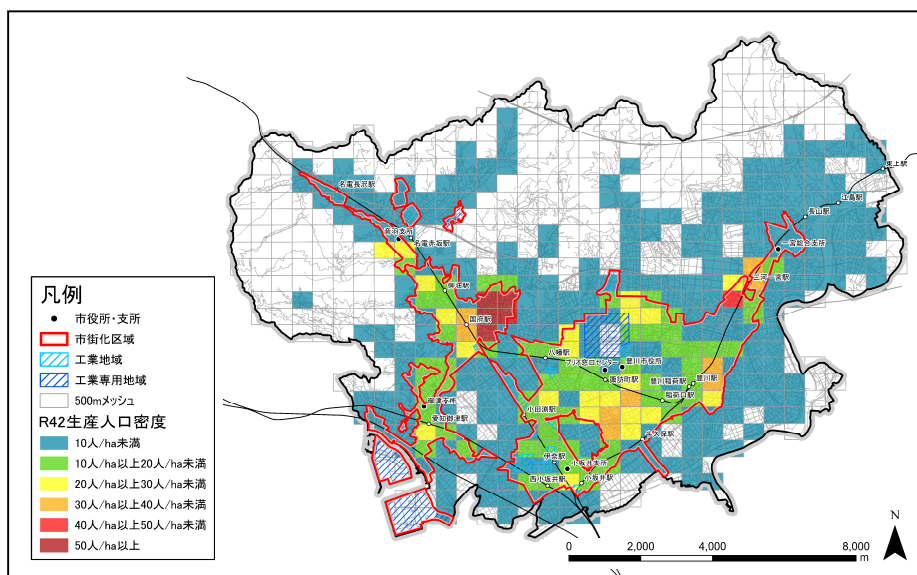


図 将来生産年齢人口密度（令和42年）

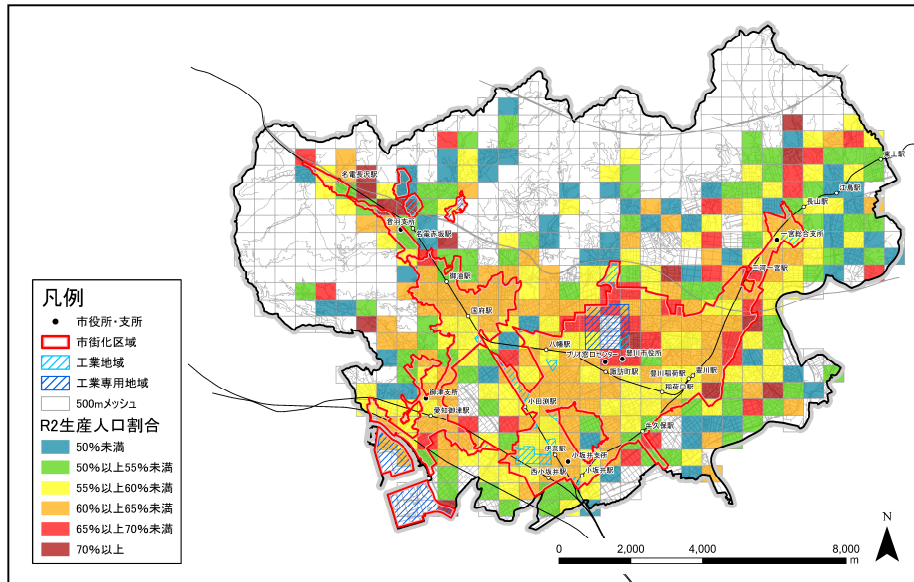


図 現在の生産年齢人口割合（令和2年）

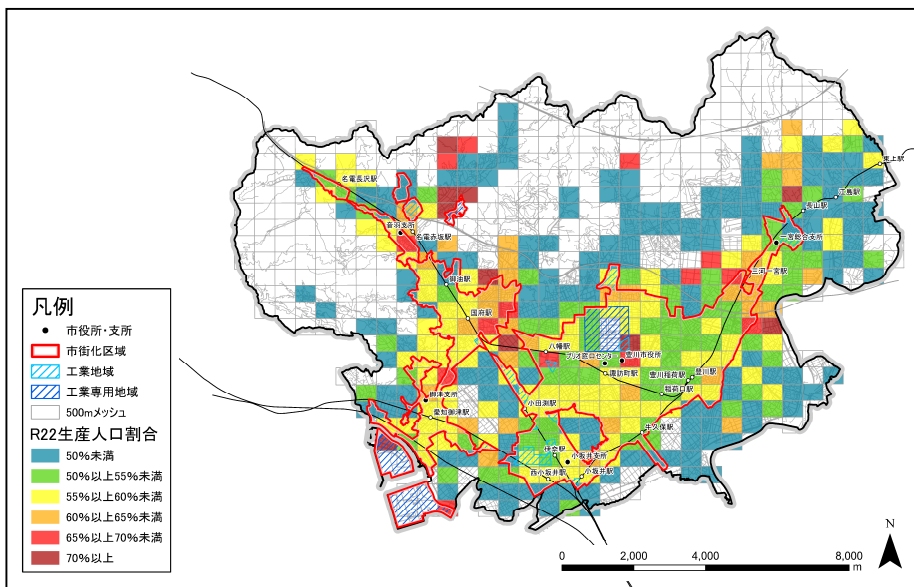


図 将来の生産年齢人口割合（令和22年）

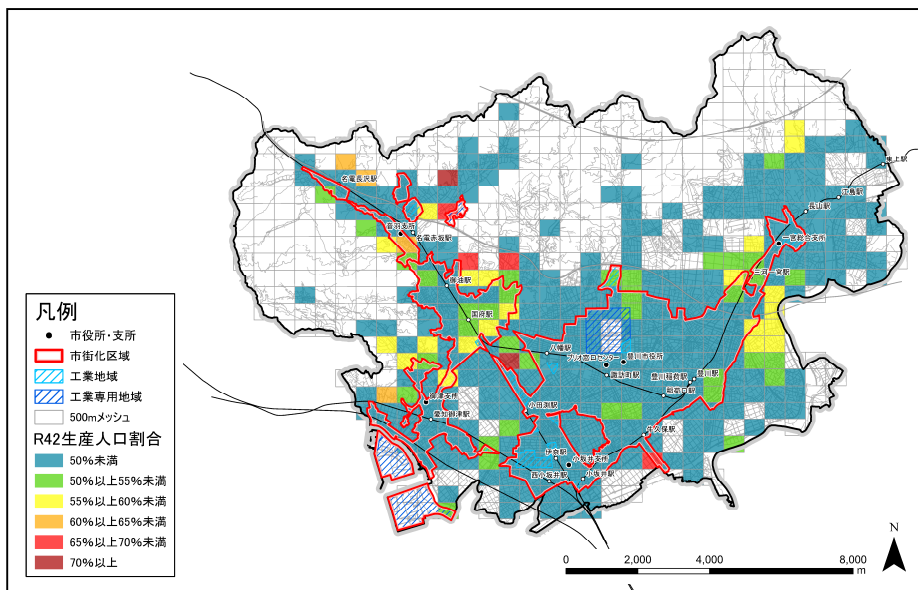


図 将来の生産年齢人口割合（令和42年）

2 将来見通しと都市構造上の課題整理

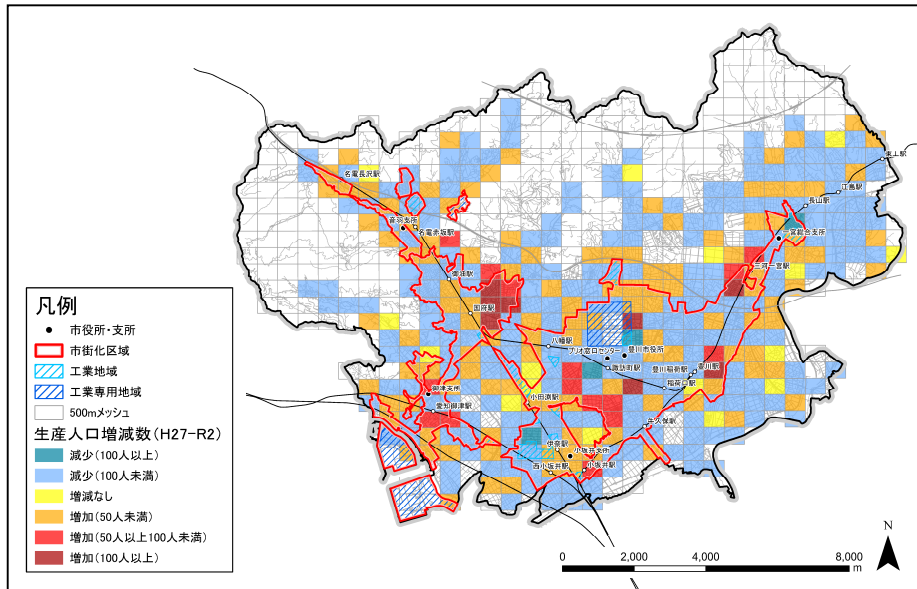


図 生産年齢人口増減数（平成 27 年～令和 2 年）

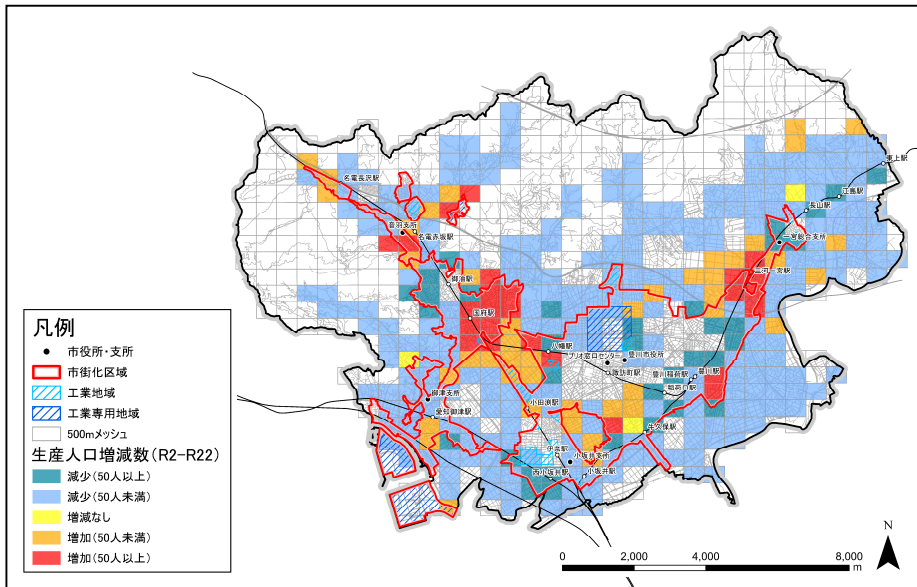


図 生産年齢人口増減数（令和 2 年～令和 22 年）

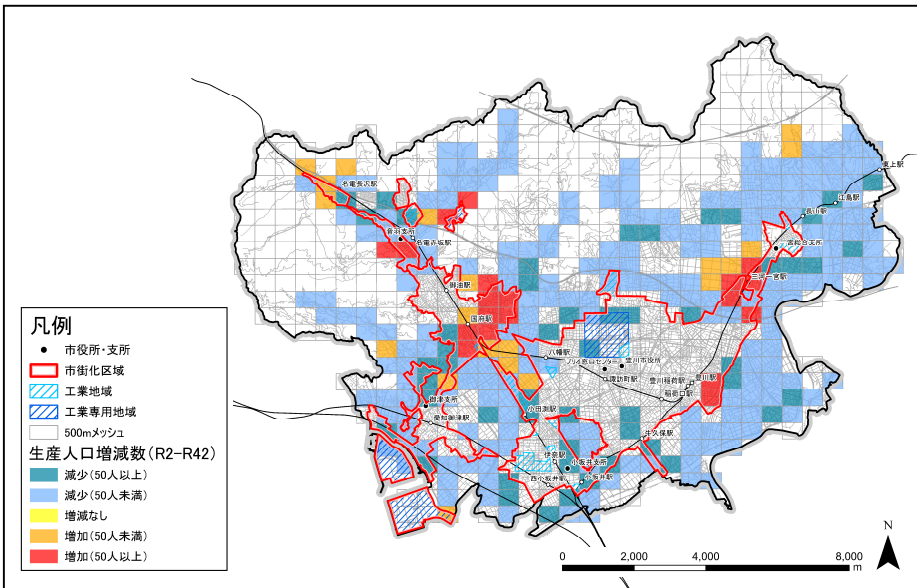


図 生産年齢人口増減数（令和 2 年～令和 42 年）